

臨床検査室技師長就任の挨拶

持続可能な臨床検査室を目指して

4月1日付で臨床検査室技師長を拝命いたしました。当院臨床検査室の開設は病院開院の翌年、1957年にさかのぼります。これまで臨床検査室の歴史を作り上げてこられた諸先輩方に敬意を表し、次世代へより良いバトンをつなげるよう尽力してまいります。

私の座右の銘は「知行合一」です。現代の情報化社会において、知識を得ることは比較的容易ですが、得られた知識を行動に移すことは決して容易ではありません。リーダーとして、必要な情報や知見を精査・分析し、対話を重ね、物事をより良い方向へ推し進めていきたいと思っております。

さて、臨床検査室には今年度新卒採用者2名を含め、20代～60代の総勢35名の臨床検査技師が在籍しています。価値観に個人差はあるものの、我々医療人の根底には「医療を通じて地域社会に

臨床検査室 技師長 和泉元 雅子



貢献したい」「知識や技術を高めたい」という共通の思いがあります。個々のライフステージに応じて自分や家族との生活を大切にしながら、自己実現に向けてキャリアを切り開くことが出来るよう支援したいと思っております。

人口減少・高齢化に伴い、医療を含めた社会情勢が厳しくなる中で、臨床検査技師に求められる能力は専門的かつ多様化しています。幸い当院の臨床検査技師は向上心が強く、院外研修会への積極的な参加に加え、毎年複数名が認定試験や学会発表に挑んでいます。

これからも、時代の変化に適応した臨床検査室の構築と、働きやすくやりがいのある職場環境の実現に向けて邁進してまいりますので、ご指導、ご支援のほどよろしくお願いいたします。